

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



ガバナー月信  
4  
VOL.10  
2012.04.01



## 「ヒコウ少年」と言われて ～スバルプレインと大西勇一氏～

『ロータリーの友』7月号誌上で我がクラブ井田会員より、昔「ヒコウ少年」だったと紹介されてから、私の飛行機好きが地区で知られるようになりました。その理由は、第一に私たちの2840地区群馬県太田市は飛行機王と言われた中島知久平翁の出身地であり、大正6年には「飛行機研究所」を創設した場所であるからです。同研究所は後に中島飛行機製作所に発展し、最盛期には25万人もの従業員を擁し、終戦までの間に2万5千機にも及ぶ飛行機を生産しました。その流れは現在の富士重工(株)や三洋電機(株)に継承され、太田地区を一大工業集積地として発展させたのです。私はその偉業を称えるべく、飛行機に興味を持ったのが始まりでした。さらに、世界の航空機史上に輝かしい名を残す「零式艦上戦闘機」の主務設計者が、やはり群馬県出身(藤岡市)の堀越二郎氏であることに感動し、飛行機への興味はさらに大きくなりました。堀越技師は、第一高等学校、東京帝国大学航空学科をそれぞれ首席で卒業、現在の三菱重工に入社し革新的な設計で名機を作り上げてゆきました。連合国のパイロットから「ゼロファイター」として畏怖されたこの「零戦」は、三菱重工を中心に、中島飛行機でも生産が行われました。加えて、飛行機の歴史を語る上で欠かせない方々を群馬県は多く輩出していることから、月信の表紙にイラストを掲載しながら説明しております。また、我が地区には私以上のヒコウ少年が健在です。そのヒコウ少年とは、館林ミレニアムRCの大西勇一名誉会員であり、87歳の現在においても例会に出席しています。氏は飛行機を飛ばすには様々な改良を続けることが不可欠で、そのためには飛行場の隣で製作することが最適という発想の転換により、飛行機を作る以前に、自身で飛行場を作り上げたという人物です。その飛行場は、現在は閉鎖されましたが、以前はスカイダイビングにもよく使用されていました。そして富士重工の自動車用エンジンである、水平対向4気筒水冷エンジンを搭載して成功した世界最初の航空機である「スバルプレイン」を作り上げたという方です。キーワードは、発想の転換ではないでしょうか。現在、ロータリークラブの存続や将来について様々な議論が行われていますが、大西氏のようなダイナミックな発想こそが必要と考え、今号の表紙に関する筆を執った次第です。

RID2840地区ガバナー 安藤震太郎

## CONTENTS

ガバナーメッセージ	p2
ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)推進について	
地区幹事だより	p3-6
2014-2015年度 ガバナー・ノミネー決定のお知らせ	p7
米山記念奨学生修了式及び歓送会開催報告	p8
2012～2013年度 地区チーム研修セミナー	p9
2012～2013年度 PETS・SETS	p10
各クラブ震災復興支援活動	p11-17
地区主要行事一覧および周年行事予定クラブ、クラブ情報	p18
ガバナー月信についてのお願い	p19
新会員紹介	p20
ロータリー文庫通信	p21
出席報告	p22



国際ロータリー 第2840地区  
安藤ガバナー事務所  
tel:027-370-2840  
fax:027-370-2841  
e-mail:ando@rid2840.jp

## ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)推進について



国際ロータリー第2840地区  
2011-2012年度  
ガバナー 安藤 震太郎



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

本年度も第4クォーターを向かえ仕上げの時期を迎えようとしております。当年度目標の第一に掲げたのはロータリーの活動を活性化するために「ロータリーを学びましょう」ということでした。この目標は各クラブの皆様へもよくご理解いただき必ず目標に掲げて頂くようお願い致しました。しかしながら具体的には、どの様なことを行えばよいのか良く分からないのが実情ではなかったかと思えます。

そこで、地区では次年度へ向け、クラブ会長エレクト並びに次年度クラブ研修リーダーの方を対象としたRLIセミナーを開催させていただくことと致しました。RLI(ロータリー・リーダーシップ・研究会の略)は1992年に設立されたロータリー・クラブの指導者開発を目的としたプログラムで、ニュージャージー州より始まり、日本においては2008年に第2750地区(東京)で開催されたのがきっかけで、現在日本でも急速に発展しております。その使命は、高度なリーダーシップ研修を通じてクラブを強化し、奉仕団体として必要な技術と知識を磨くこととあります。当地区におきましても横山公一地区研修リーダーの強力なご指導の下、過去二回RLI日本支部中村靖治委員をお招きしてRLI・ディスカッショ

ン・リーダーの研修を行い3月から6月までに3回に渡り開催するセミナーに備えました。

RLIの基本的なコースはPart I~IIIまでと卒後コース(任意)の4つです。参加者は6つのセッションに分かれ(1セッション15名程度)、ディスカッション・リーダーの司会によりテーマに沿ってディスカッションを行います。テキストにしたがって1セッション50分の時間で、1日6セッションを行い1つのパートが終了いたします。パートの終了後には終了証が手渡されます。RLIの各コース内容は全ての地区に共通しますので、他地区で受講しても同じ内容のセミナーが受けられます。よって年度、地区をまたいでの受講も可能です。

RLIをRIの正規プログラムにしようとする決議案が2013年RI規定審議会に提案される予定です。RLIはRIが今最も力を入れているRI戦略計画(11月に名称変更)の優先項目の内容とも一致しており、日本では34地区中12地区がすでに開催又は開催を予定しております。

今後のクラブの、地区の、そしてロータリーの活性化のためにご理解の上ご協力をお願い致します。



## 地区幹事だよりⅠ 第1回長期戦略委員会 開催

地区幹事 島津 文弘

2013年に開催される「規定審議会」にRI理事会より提出される予定の立法案の内容の把握と理解を目的として、当地区代表議員である森田均パストガバナーにもご出席頂き委員会が開催されました。

## 地区幹事だよりⅡ 「意義ある業績賞」受賞クラブが決定致しました

先月末日までに各クラブ様よりガバナー事務所に届きました「意義ある業績賞」の推薦書を、本年度の意義ある業績賞選考委員の皆さまに厳正なる審査をして頂きました。

その結果、下記のクラブ様が「意義ある業績賞」を受賞されましたので、ご報告申し上げます。推薦書をご提出頂いたクラブ様で残念ながら選考から漏れてしまいましたクラブ様も素晴らしい活動を実施されておりました。

来年度も是非「意義ある業績賞」にエントリーをして頂きますようお願い致します。

2011-2012年度 意義ある業績賞 受賞クラブ  
「高崎東ロータリークラブ」

## 地区幹事だよりⅢ 「チェンジメーカー賞」提出状況のご報告

過日、積極的参加のお願いをさせて頂きました「チェンジメーカー賞」につきましては各クラブ様にご協力頂き誠に有難うございました。

締切日までに、下記の通りご提出頂きましたのでご報告申し上げます。

チェンジメーカー賞	クラブ表彰提出クラブ数	—————	7クラブ
	インターアクト表彰提出クラブ数	—————	7クラブ
	ローターアクト表彰提出クラブ数	—————	3クラブ

※4月5日締切の「RI会長賞」へも是非積極的参加をお願い致します。



## 地区幹事だよりⅣ 使途指定先震災支援金の経過報告

東日本大震災よりちょうど一年を目安に各クラブ様へお願い申し上げました、使途先をご指定して頂いた本年度の支援金には、たくさんのクラブ様にご協力頂きまして誠に有難うございました。

4月上旬にお振込み頂くクラブ様もございますので途中経過となりますが、各クラブ様より集まりました支援金の金額をご報告申し上げます。今後は、使途指定届と照らし合わせて各事業ごとの支援金額を決定し、送金して参ります。詳しくはまた後ほど、各クラブ様へご報告させていただきます。

3月末日現在 各クラブ様からの震災支援金  
ご入金額 ￥**4,604,134**

※尚、締め切りは過ぎておりますが、まだ支援金についてご検討中のクラブ様がございましたら受け付けさせていただきますので、ご連絡ください。

## 地区幹事だよりⅤ 「これだけは知っておきたい未来の夢知識」のご紹介

国際ロータリー及びロータリー財団の専門家グループ クリスティーン・ペペラ シニアコーディネーターより「ロータリー財団専門家グループのニュースレター」が届きました。

このニュースレターの中に、「これだけは知っておきたい未来の夢知識」という記事がございましたので、未来の夢計画への移行に備えてご紹介させていただきます。

次ページより掲載しますのでご覧ください

Tech Talk

ロータリー財団専門家グループのニュースレター

## これだけは知っておきたい未来の夢知識

2013年7月1日、未来の夢計画によって打ち出されたロータリー財団の新しい補助金モデルが、ロータリー全地区に導入されることとなります。現在は、3年間にわたり補助金構成を試し、その成果を判断するため、100地区が未来の夢試験段階(パイロット)に参加しています。

専門家グループからも数人のメンバーが、既に試験段階の補助金評価に携わっています。2013-14年度が近づくにつれ、私たちは新しい補助金構成の評価に向けて更に専念することになるでしょう。そこで、未来の夢計画について、そして新補助金モデルへの移行に備えて知っておくべき事柄を以下にまとめてみました。

### 未来の夢とは？

未来の夢計画は、地区やクラブの人道的プロジェクトと教育的プロジェクトを支援する、ロータリー財団の新しい補助金構成です。新しい補助金モデルの下では、クラブと地区がより大きな成果をあげられる機会が用意されているほか、クラブの強化、会員基盤や寄付者ベースの増強、公共イメージの改善、地元の奉仕活動への関心を高めるなど、さまざまな可能性を試すことができます。簡素化と柔軟性がこの計画の特徴となっており、補助金の申請もオンラインでできます。

### 新しい補助金モデルを開発した理由とは？

財団は、奉仕の第二世紀に近づくにつれ、ポリオ撲滅の完遂を視野に入れ、未来に向けて組織を改革し続けていくための機会を明確にする必要性を認識するに至りました。財団の100周年とポリオプラス・プログラムから得た貴重な教訓から、未来を見据えた新たな財団へのアプローチが誕生したのです。

このアプローチの一環として、財団は限られたリソースをより効率的に活用する必要性を認識しました。2007年、財団が大規模かつ多大な成果を期待できる補助金プロジェクトに充てた資金は年次プログラム予算の20パーセント、一方、短期的で非常に限られた成果しか期待できないプロジェクトに充てた資金は予算の80パーセントでした。新補助金モデルでは、これを逆転させ、80パーセントを持続可能で大きな成果が期待できるプロジェクトに使用することを目指します。質の高いプロジェクトを実施し、大きな成果をあげれば、ロータリー・クラブやロータリーの公共イメージも高まり、会員と寄付者の増加にもつながるでしょう。

### 2種類の補助金

新補助金モデルの下で財団が提供するものは、新地区補助金とグローバル補助金の2種類のみです。一方、グローバル補助金は、大規模で国際的なプロジェクトを支援し、重点分野に関連して持続可能かつ測定可能な成果が期待できる人道的プロジェクト、職業研修チーム、奨学金などに使用できます。新地区補助金は、資金が一括して支払われ、クラブと地区が地元や海外の差し迫ったニーズに取り組む目的で利用できる非常に柔軟性の高いものです。

グローバル補助金は、審査上の目的で現在、レベル1、レベル2、レベル3に分類されています。支給額15,000～50,000米ドルのレベル1は、ロータリー財団職員が審査を行います。支給額50,001～100,000米ドルのレベル2では、専門家グループによる専門的審査と現地視察(中間視察)が必須とされます。支給額100,001～200,000米ドルのレベル3になると、専門家グループによる専門的審査と現地視察(中間視察)に加えて、事前現地視察と監査が義務付けられます。

専門家グループの監査役は、上記の審査だけでなく、無作為の監査を依頼されることもあり、グローバル補助金と新地区補助金の両方に継続して関わっていきます。このほか、毎年地区の業務監査も行い、専門的リソースをさまざまな形で提供していきます。

### 持続可能性とは？

ロータリー財団は、「持続可能性」を、「補助金資金がすべて使い果たされた後も、引き続き地域社会のニーズに応えるために、プロジェクトによってもたらされた成果を長期的に持続できること」と定義しています。持続可能なプロジェクトでは、通常、計画の段階から現地のリーダーが関与しているため、長期的な成果を目指す姿勢が育まれます。したがって、ロータリーが投資する資金やボランティアの労力に対しての見返りが大きく、長く持続されることとなります。グローバル補助金は、人々の自立を助けるものとも言えるでしょう。

専門家グループのメンバーがグローバル補助金プロジェクトを監督する上で、持続可能性が重要なポイントの一つとなり、専門的審査と現地視察を通じての評価が必要となります。



メディアキャンペーンの受益者であるネパールの障害者を訪問したヒマンシュ・サッカー元地区ガバナー

Tech Talk

ロータリー財団専門家グループのニュースレター

## これだけは知っておきたい未来の夢知識

### 6つの重点分野とは？

グローバル補助金は、以下の6つの重点分野に焦点を当てたプロジェクトに活用することができます。

- 平和と紛争予防／紛争解決
- 疾病予防と治療
- 水と衛生
- 母子の健康
- 基本的教育と識字率向上

経済と地域社会の発展

これらの分野は、ロータリアンが既に世界中で取り組んでいる緊要な人道の問題であるとして特定されました。

#### 資金管理担当職員

金本美利

マネージャー

[miri.kanemoto@rotary.org](mailto:miri.kanemoto@rotary.org)

サラ・クリステンセン

地区支援スペシャリスト

[sarah.christensen@rotary.org](mailto:sarah.christensen@rotary.org)

クリスチャン・ペペラ

シニア・コーディネーター、専門家  
グループ

[christian.pepera@rotary.org](mailto:christian.pepera@rotary.org)

タニア・デュボン

会計監査スペシャリスト

[tannia.dubon@rotary.org](mailto:tannia.dubon@rotary.org)

ラジャシュ・アナン

会計監査シニア・コーディネーター  
南アジア事務局、インド

[rajesh.anand@rotary.org](mailto:rajesh.anand@rotary.org)

ロータリー財団管理委員会も、これまでロータリアンが関心を傾け経験を積み重ねてきた分野に的を絞ることで、会員の熱意をいっそう促し、プロジェクトを成功に導びけると考えています。

専門家グループは、監査を担当するグループに加え、6つの重点分野ごとにグループが分かれています。

### クラブと地区にとっての利点

新補助金モデルの下では、クラブと地区にとってほかにどのような利点があるか、以下にまとめてみました。

- **補助金種類の簡素化:** 補助金の種類は、これまでの12種類から2種類(グローバル補助金と新地区補助金)に減りますが、各補助金の下で実施できる活動の多様性は変わりません。
- **合理化と明確化:** 補助金の支払いがより明確かつ迅速に行われ、クラブと地区は、申請から承認までの全プロセスを通じて手続き状況を随時確認できます。
- **DDF額と柔軟性の増加:** 地区は、新地区補助金として地区財団活動資金(DDF)の50パーセントまでを申請できます。すなわち、より多くのプロジェクト資金が確保でき、DDFの決定権も増えます。新地区補助金は、従来の研究グループ交換や奨学金のようなプロジェクトを含め、ロータリー財団の使命に沿った幅広い活動を、地元および海外で実施するために使用できます。
- **測定可能な成果:** 補助金のモニタリングと評価を実施することにより、補助金の提唱者とロータリー財団にとって貴重な情報が得られます。例えば、プロジェクトの恩恵者の数を把握し、それを伝えることができれば、そのプ

ロジェクトに対する一般の人々からの理解や協力も得やすくなります。

- **プロジェクトのオプション:** グローバル補助金では、クラブと地区が海外のパートナーと協力して独自にプロジェクトを立案できるほか、ロータリー財団の戦略パートナー(協力組織)との協力によるパッケージ・グラントに参加することもできます。パッケージ・グラントでは、あらかじめ活動の枠組みが定められており、国際財団活動資金(WF)から資金の全額が提供されます。

### 未来の夢への移行に備えて

試験段階に参加していない地区は、移行への準備を今から開始すべきです。現地区ガバナー・エレクトは2012年度国際協議会で既に研修を終えており、新しい補助金構成の実施が全世界で一斉に導入される年に任期を務める地区ガバナーおよび地区ロータリー財団委員長は、2013年度国際協議会で研修を受ける予定です。この研修では、オンラインによる参加資格認定手続き、クラブへの研修と参加認定の実施、全面導入開始前のロータリー財団補助金への申請について指導を受けます。地区は、クラブの研修と参加資格認定を目的とした補助金管理セミナーも主催します。

未来の夢への移行については、[RIウェブサイト](#)に最新の情報とリソースが掲載されていますので、ぜひご覧ください。また、[未来の夢ニュースレター](#)の受信を申し込むと、毎月無料でEニュースレターを受信することができます。



2014-2015年度

## ガバナー・ノミネー決定のお知らせ

国際ロータリー第2840地区

2011-2012年度

ガバナー

安藤 震太郎

ガバナー指名委員長

曾我 隆一

去る2012年3月10日、国際ロータリー第2840地区2011-12年度ガバナー指名委員会は、下記の通り、2014-2015年度ガバナー・ノミネーを指名いたしましたので、ご報告いたします。

記

## 2014-2015年度 ガバナー・ノミネー 竹内 正幸(太田RC)

ガバナー指名委員会	委員長	曾我 隆一
	委員	横山 公一
	委員	松倉 紘洋
	委員	牛久保 哲男
	委員	福田 一良

なお今回の指名につきましては、2011年12月31日の締切日までにクラブからの候補者推薦をお願いしておりましたが、期日までに一人も受理されませんでしたので、対抗候補者はいません。したがって、指名委員会を選出した竹内 正幸さんを、正式に、第2840地区の2014-15年度ガバナー・ノミネーとして、宣言します。

以上

国際ロータリー第2840地区

2014-2015年度 ガバナー・ノミネートプロフィール



氏名 竹内 正幸(たけうち まさゆき)  
所属クラブ 太田ロータリークラブ  
生年月日 1954年 9月20日  
職業 株式会社竹内組 代表取締役社長  
学歴 高千穂大学商学部卒業

\*ロータリー歴

クラブ 1993年8月26日 太田ロータリークラブ入会  
2001-2002年 幹事  
2010-2011年 会長

地区 2002-2003年 職業奉仕・ボランティア委員  
2003-2004年 職業奉仕委員  
2005-2006年 研究グループ交換・学友会  
ポリオプラス委員会委員  
2006-2007年 地区副幹事  
2007-2008年 ロータリー財団委員会  
補助金・奨学金・年次寄付・恒久基金委員  
2008-2009年 ロータリー財団委員会  
補助金・奨学金・年次寄付・恒久基金委員  
2009-2010年 ロータリー財団委員会  
研究グループ交換・学友会・ポリオプラス委員会委員長  
2012-2013年 第4分区Aガバナー補佐

ポーリ・ハリス・フェロー(マルチプル)  
米山功労者(マルチプル)



## 米山記念奨学生終了式及び歓送会開催報告

国際ロータリー第2840地区

2011-2012 年度

担当地区副幹事 川本 裕明

2月18日(土)高崎ビューホテルに於いて米山記念奨学生終了式及び歓送会を地区役員、地区委員、3月で終了となる米山記念奨学生、カウンセラー28名の出席で開催致しました。

はじめに安藤震太郎ガバナー、高木貞一郎米山記念奨学会常務理事、野辺昌弘地区米山奨学委員長より挨拶があり、安藤震太郎ガバナーは「人生というのは自分で織物を織って行く作業だと私は考えます。時間の流れを縦糸とすると横糸は自分の経験や教育で織り上がってゆく作業です。皆さんが、米山記念奨学生として過ごしたこの経験がこれからの人生の中で光輝いた良い織物であって欲しい、そしてこの経験と教育を活かして頂きたい」と話されました。

その後、カウンセラーに感謝状贈呈、米山記念奨学生には終了証が贈呈されました。

引き続き、疋田博之ガバナーエレクトの乾杯のご発声で歓送会に移り、カウンセラーからはカウンセラーとしての悩みや喜びなどが披露されました。また、米山記念奨学生からはこれまで支えて下さった方々への御礼の言葉、奨学生生活の思い出が語られ、そして今まで奨学生としてロータリークラブや日本で学んできたことを生かし今後「日本と母国の懸け橋になる」ことを誓って下さり、米山記念奨学事業の素晴らしさを改めて感じました。

新規米山記念奨学生になった日より日本での親も同然に接してきたカウンセラーとその奨学生の皆様方の終了式及び歓送会でしたので、終始気持ちに通じあった和気あいあいの賑やかな雰囲気の中執り行うことができました。

終了奨学生の今後のご活躍を祈念し、ご参加頂きました皆様のご協力に感謝申し上げます、開催報告とさせていただきます。



## 2012～2013年度 足田ガバナー年度 地区チーム研修セミナー

地区幹事 松島 宏明(桐生RC)

2012～2013年度(足田ガバナー年度)の地区チーム研修セミナーが、2月19日に足田ガバナーのお膝元でもある桐生プリオパレスで行われました。セミナーにはパストガバナーをはじめ、足田年度のガバナー補佐や委員長といった地区スタッフがほぼ全員集まりました。

研修内容は例年同様RI会長(該当年度は田中作次会長)の年次テーマ・国際協議会報告に続き地区運営方針・地区行動指針を足田ガバナーエレクトが発表した後、地区幹事から、地区組織と年度スケジュールの説明、財務委員から予算に関する説明が行われました。続いてRI戦略計画に関する説明を、曾我隆一地区研修委員長に行っていたいただき、RLIに関して横山地区研修副委員長がお話くださいました。

昼食後は大きく変化するロータリー財団(未来の夢計画)について、牛久保財団委員長にご説明していただき、その後チームミーティングに入りました。チームミーティングは写真でもご紹介していますが、多くのチーム内の意見を吸い上げる事を念頭に、ガバナー補佐の方々と委員長各位の意見交換と相互理解、もう一步踏み込んで本音のお話をお聞かせいただくいい機会ととらえ、研修委員会と連携の上RLIの手法も一部取り入れながら実施しました。ミーティングの最終部分では、重田政信パストガバナーからもその斬新な手法と試みに好評頂く場面もあり例年になくうち解けた雰囲気の中に終了しました。



## 2012～2013年度 正田ガバナー年度 PETS・SETS (会長エレクト・次年度幹事セミナー) 開催報告

地区幹事 松島 宏明 (桐生RC)

翌日で東日本大震災1周年を迎える、正田年度のPETS・SETS (会長エレクト・次年度幹事セミナー) は、3月10日土曜日一日に凝縮する形で、桐生プリオパレスで実施されました。当日は冷たい雨の降るあいにくの天候ではありましたが、2840地区内会長エレクト・次年度幹事各位は、ほぼ集合時間通りの時間よりお集まり頂きました。

研修会はまず、正田ガバナーエレクトよりRI年次テーマ・国際協議会報告・地区運営方針・地区行動指針の説明がなされ、研修委員会方針とRLI説明を研修委員会の曾我委員長、横山副委員長より説明いただきました。その後地区委員会の各委員長より方針説明が行われ昼食となりました。

午後はまず牛久保財団委員長より、ロータリー財団未来の夢計画についてのお話をいただき、その後会長エレクト・次年度幹事に分かれ各会場での分科会となりました。会長エレクト分科会では規定審議会立法案・危機管理の各委員会の説明を森田パストガバナーに、米山奨学会について高木パストガバナーにお話しいただき、RIの戦略計画について曾我パストガバナーにご説明いただきました。一方幹事分科会は、研修委員会の大島研修委員と水石研修委員のリードのもと、幹事として直面する問題に対する処方箋など具体的事案をもとに研修が進められました。

最終セッションとして今回は分區別会議を設置しました。各クラブの課題と目標をテーマに、各分区のガバナー補佐にリーダーとなっていただき、それぞれの分区のニーズに合わせた話し合いを持っていただきました。各分区を正田ガバナーエレクト共々回らせていただきましたが、大変和気藹々と良い空気を感しました。

懇親会にもたくさんのメンバーにお残り頂きありがとうございました。



## 各クラブ震災復興支援活動 桐生ロータリークラブ

会長 養田 隆

### 宮城県南三陸町歌津・吉野沢地区仮設集会所建設プロジェクトの推進

桐生ロータリークラブは、桐生南、桐生西、桐生中央、桐生赤城の各ロータリークラブとともに宮城県南三陸町歌津・吉野沢地区の仮設集会所建設プロジェクトを推進しています。この仮設集会所は24年2月末に完成の予定です。本プロジェクトには第2520地区の佐沼ロータリークラブ(宮城県登米市)から協力をいただいています。

桐生ロータリークラブは本プロジェクトのために「ロータリー財団東日本震災復興基金」に補助金を申請し承認され、その補助金と桐生地区の5つのRCの寄付による総額3,300,000円を現地の「すばらしい歌津をつくる協議会(小野寺寛会長)」に寄贈しました。

仮設集会所は、歌津・吉野沢地区の自治会の活動拠点として、高齢者の憩いの場、交流の場、また、小中学生の放課後の学習の場、職場を失った方の就業支援の場などとして様々な活用されることが期待されています。

本プロジェクトのニーズは桐生地区のロータリークラブやロータリアン個人が支援をしている桐生災害支援ボランティアセンターを経由して桐生ロータリークラブへ伝えられました。同センターは震災直後から南三陸町の避難所であった歌津中学校へ頻繁に炊き出しを実施してきましたが、その活動が現地の協議会との間に信頼関係を生み、仮設集会所建設の協力要請と繋がりました。歌津へのボランティアには桐生ロータリークラブや桐生ローターアクトクラブのメンバーが参加してきました。昨年11月には桐生ローターアクトクラブを含む当地区のローターアクトが歌津の「平成の森」仮設住宅自治会へ雪かきを寄贈するなど継続的で現地の要望にあった支援の輪が広がっています。



## 各クラブ震災復興支援活動 桐生南ロータリークラブ

会長 薊 勝

国際ロータリー第2840地区桐生南ロータリークラブは東日本大震災に対して以下のような対処の仕方をした。

奉仕プロジェクトチームのうち、

### 1) 社会奉仕委員会は

#### ① 活動方針及び重要事項として

東日本大震災によって被災された方々に対して、色々な視点から可能な限り支援させていただく。重点活動として特に、被災地に対する支援奉仕ではなく桐生市を中心とした周辺地域に避難されてこられた方々に対して、精神的な癒しやコミュニケーションの面で色々なボランティア組織や行政、商工会議所等の協力も頂きながら支援活動を行っていく。

#### ② 2011年7月から2012年6月の事業計画として

桐生市周辺地域に避難されているほとんどの方々は福島県からであり、原発事故による避難者であることが特徴的である。しかも、避難期間は長期間となることが予測されている。この為、当ロータリー奉仕委員会としては各種イベント開催を月一回程度実施しながら、避難されてきている方々のニーズを把握することに努め、本当に役に立つ支援奉仕を実施して行く。当然の事として、地元桐生市の被害にも目を向けて行く。

### 2) 具体行動として

① 地元桐生市に対しては → 2011年5月姉妹クラブ台湾 新泰RCクラブから義捐金として頂いた2,700,000円を今回の地震で破損した桐生市の文化財の復興の為に市に全額を寄付。

#### ② 災害地に対して

1) 2840地区の一員として地区の要請に従い応分な寄付。

2) 宮城県南三陸町歌津・吉野沢地区仮設集会所の建設プロジェクトのために桐生市5RCの一員として125,000円を寄付。

#### ③ 福島県から桐生市に避難している方に対して

1) 福島県からの被災者に対してロータリー行事に招待する。3回。(納涼会・月見会・クリスマス会)更にクリスマス会には11名の子ども達と母親などを招待する。

2) 社会奉仕委員長の上野君が福島県人会会長であることから兼務として、不足生活用品の収集・配布・桐生、大間々夏祭りなど各種集まりに招待・日帰りバス旅行の実行・就職の斡旋などなどを行う。

各クラブ震災復興支援活動  
桐生南ロータリークラブ



## 各クラブ震災復興支援活動 桐生西ロータリークラブ

会長 江原 利夫

2011年3月19日(土)、福島県浪江町出身の花房孝道会員始め、事業所『花ぶさ』を母体にして当クラブ会員も加わり、浪江町の避難先である二本松市の3カ所で炊き出しを行い、1,000人分のカレーとおにぎり300個を振る舞った他、タオルや靴下などの支援物資の配給を行った。

2011年4月13日、RI第2520地区(宮城・岩手)指定の支援物資受入先3カ所へ約800足の靴下を送った。

2011年11月19日の当クラブ創立40周年記念事業として、福島県浪江町教育委員会と浪江RCにご協力いただいて、ロータリーの東日本震災復興基金補助のもと、浪江町の小中学生の震災遺児1名へ、総額約100万円相当の学用品一式を贈呈した。

同じく11月、桐生地区の5つのロータリークラブ合同で、ロータリーの東日本震災復興基金補助のもと、宮城県南三陸町歌津・吉野沢地区に仮設集会所建設(総額約430万円)を、すばらしい歌津をつくる協議会と佐沼RCの協力のもと、実施した。



## 各クラブ震災復興支援活動 桐生中央ロータリークラブ

会長 増田 浩三

＊桐生ロータリークラブを主管とする、桐生地区5RCによる、「南三陸町歌津地区への仮設集会所建設」への協同参画

＊4月に被災地を訪れた会員の卓話・桐生ボランティア協議会宮地会長による講演等を実施して、震災の状況・現地の状況を把握。会員の震災に対する意識醸成





## 各クラブ震災復興支援活動 伊勢崎ロータリークラブ

会長 藤生 政雄

### バーベキューに舌鼓

東日本大震災のため福島県から伊勢崎市に避難している人たちを元気づけようと、伊勢崎ロータリークラブ(藤生政雄会長)主催バーベキュー大会が、8月21日、同市堀下町の赤堀せせらぎ公園で開かれた。

会員に加え、名誉会員でもある五十嵐清隆市長、交換留学生らも参加。

市営住宅などに避難している3家族15人が招かれた。

小雨が降る中、会員らは肉やトウモロコシ、もんじゃなど焼いて振る舞った。

このバーベキュー大会の様子が群馬テレビに夕方6時に放映され、上毛新聞にも紹介されました。

会員同士が団結し被災された方々に元気を届けられたと思います。

福島県大熊町の五嶋和広さん(35)は妻と育ち盛りの小学生3人、2歳児の6人で参加。

震災から半年近くたって、伊勢崎の生活にも慣れてきた。招待は初めてのことで感謝している。と話した。

同市田部井町に落ち着いた長竹政男さん(65)は同郷の人達と顔を合わせる機会は少ないので大変うれしいと笑顔を見せた。

藤生会長は例年は会員同士の集いだったが、震災を受けて自分達に出来ることを考えて企画したと話した。



## 各クラブ震災復興支援活動 伊勢崎中央ロータリークラブ

会長 柳井 精一

・クラブ会員若手メンバーが、同じ志を持った人たちとグループを作り、被災地でボランティア活動を行っている。

クラブとして彼らの活動を金銭・物資等側面から援助している。

・3月26日 石巻小学校にて1泊で1,000食の炊き出し

・5月29日 北上川にっこりパークで300食の炊き出し

・8月24日 なたり保育園・伊里前保育園で300食の炊き出し  
介護施設つつじ苑にてコンサート

・被災した茨城県日立市のRCメンバーのお店(魚屋)より、毎月干物の詰め合わせを取り寄せ、会員のプレゼントとしている。





国際ロータリー第 2840 地区 2011-2012 年度  
地区主要行事一覧表

(2012.1.1現在)

		開催日	項目	場所
2012年	1月	1月 7日(土)	16:00 第3回ガバナー諮問委員会 18:00 GE壮行会	ホテルメトロポリタン高崎
		1月 15日(日)	米山奨学生選考会	ホテルメトロポリタン高崎
		1月 21日(土)	R財団・地区補助金審査会	高崎ビューホテル
	2月	2月 4日(土)	第4回ガバナー諮問委員会(GE報告)・規定審議会・補欠議員選出	ホワイトイン高崎
		2月 18日(土)	米山奨学生終了式・奨学生歓送会	高崎ビューホテル
	3月	3月17日(土)	RLIセミナーパートI	高崎商工会議所
		3月22日(木)~25日(日)	インターアクト国際交流事業	台湾
	4月	4月 14日(土)	継続米山奨学生面接	高崎ビューホテル
		4月 14日(土)	新規米山カウンセラーセミナー・オリエンテーション	高崎ビューホテル
		4月 21日(土)	ロータリー年次大会	高崎ビューホテル
		4月 27日(金)~29日(日)	インターアクト国際交流事業(受け入れ)	伊勢崎市立伊勢崎高等学校
	5月	5月 6日(日)~ 9日(水)	国際大会	バンコク
		5月26日(土)	第4回 ガバナー補佐・委員長合同会議	ホテルメトロポリタン高崎
		5月27日(日)	RLIセミナーパートII	ピエント高崎
	6月	6月 3日(日)	米山記念奨学会学友会総会	高崎ビューホテル
		6月24日(日)	RLIセミナーパートIII	ピエント高崎
		6月30日(土)	16:00 第5回ガバナー諮問委員会	高崎ビューホテル
		6月30日(土)	18:00 新旧地区役員合同連絡会議	高崎ビューホテル
	8月	8月	会計監査報告	

国際ロータリー第 2840 地区 2012-2013 年度  
地区主要行事一覧表(予定)

(2012.1.1現在)

		開催日	項目	場所
2012年	1月	1月 12日(木)	第1回ガバナー補佐・委員長予定者会議	桐生・商工会議所
		1月 15日(日)~1月21日(土)	国際協議会	アメリカ・サンディエゴ
	2月	2月 19日(日)	地区チーム研修セミナー	桐生・プリオパレス
	3月	3月 10日(土)	会長エレクト・次期幹事研修セミナー (PETS&SETS)	桐生・プリオパレス
		3月 18日(日)	女性フォーラム	前橋・ロイヤルホテル
	4月	4月 7日(土)	第2回ガバナー補佐・委員長合同会議	桐生・プリオパレス
		4月 22日(日)	地区協議会	桐生・市民文化会館
	5月	5月 6日(日)~5月 9日(水)	国際大会	タイ・バンコク
	6月	6月16日(土)	地区ロータリー財団セミナー	
		6月 日( )	ガバナー補佐会議(午前)・地区会員増強セミナー(午後)	
6月 日( )		ロータリーアクト地区協議会・地区指導者研修会		
6月30日(土)		18:00新旧地区役員合同連絡会議	高崎ビューホテル	

国際ロータリー第 2840 地区 2011-2012 年度  
周年行事予定クラブ

クラブ名	周年	予定日	開催場所	実施・規模
桐生西	40	2011年11月19日(土)	桐生プリオパレス	
大泉	45	2012年 3月 7日(水)	三洋電機群馬保健センター	予定通り実施
太田	55	2012年 3月29日(木)	ロイヤルチェスター太田	予定通り実施
前橋東	35	2012年 4月12日(木)	ロイヤルチェスター前橋	予定通り実施
太田中央	20	2012年 4月14日(土)	マリエール太田	規模を小さく実施
高崎南	50	2012年 4月15日(日)	ホテルメトロポリタン高崎	予定通り実施
前橋北	30	2012年 5月13日(日)	前橋商工会議所	予定通り実施
桐生赤城	15	2012年 5月19日(土)	桐生プリオパレス	予定通り実施
太田西	40	2012年 5月30日(日)	ティアラグリーンパレス	規模を小さく実施

**クラブ情報** 以下の情報が届いていますので、お知らせいたします。

太田西RCより、表記の通り周年行事の日程と開催場所変更のご連絡が届きました。



月信担当者より皆様へ

## ガバナー月信についてのお願い

主に下記の要領で掲載しますので、ご協力お願いいたします。

1. ガバナーからのメッセージ
2. ガバナー補佐、地区幹事、委員会、地区副幹事からのメッセージ
3. 当月の主要行事の案内
4. クラブだより
5. 新入会員の紹介・訃報
6. 地区出席報告〈クラブ出席率の一覧〉

以上はインターネットホームページ上で配信しております。

■ 出席報告の締切は、毎月 7 日迄です。

出席報告の入力位置がトップページにありますのでご利用ください。

なお、ID とパスワードは各事務所お持ちとおもいますが、不明なクラブはガバナー事務局までお問い合わせください。

■ 原稿の締切は、ワード文書・エクセル書式・テキスト形式で毎月 15 日迄です。

写真等の画像がある場合は、デジタルデータでお送りください。

■ 新入会員の紹介、訃報のご連絡は、毎月 15 日までをお願いいたします。

(15 日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載になります。)

■ 月信の配信は、翌月 1 日に行います。

■ 新入会員・訃報は、略歴・写真を添えて、メールにて安藤ガバナー事務所 ando@rid2840.jp までお送りください。

月信担当 安藤ガバナー事務所 担当副幹事 竹中 隆

この月信の PDF データを印刷して、クラブの第一例会で会員の皆様に回覧いただきたく存じます。  
よろしくごお願い申し上げます。



会員だより

## 新入会員紹介



新会員名 渡邊 誠  
 クラブ 前橋南RC  
 入会日 2012年3月14日  
 職業分類 燃料小売業  
 勤務先 有限会社 渡辺沖次郎商店  
 役職 代表取締役  
 推薦者 橘田 博



新会員名 伊藤 好則  
 クラブ 富岡RC  
 入会日 2012年3月7日  
 職業分類 液化ガス販売  
 勤務先 伊藤石油ガス株式会社  
 役職 代表取締役  
 推薦者 小林 夏夫



新会員名 廣田 敦  
 クラブ 大泉RC  
 入会日 2012年2月1日  
 職業分類 商業銀行  
 勤務先 (株)群馬銀行 大泉支店  
 役職 支店長  
 推薦者 一倉 保



国際ロータリー第 2840 地区 2011-2012 年度

## ロータリー文庫通信 (295号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 最近のロータリー情報から

#### ■「RI 長期計画から RI 戦略計画へ！」

南園 義一 2012 / 1P (D.2710 月信)

#### ■「RMI アンケート調査 (日本) 概要報告」

RI 2010 / 2P

#### ■「RI 広報に関するアンケート調査から得られた結果報告」

RI 2008 / 15P

#### ■「ロータリーの意味論 (6) 共通の希望、夢、願い」

久野 薫 2011 / 4P (D.2680 月信)

#### ■「ロータリーの意味論 (7) リーダーシップ」

久野 薫 2012 / 4P (D.2680 月信)

#### ■「鈴木正三の思想とロータリー」

安平 和彦 2012 / 8P (D.2680 インターシティ・ミーティング報告書)

#### ■「CLP を考える」

田村 泰三 2011 / 1P (D.2710 月信)

#### ■「まことのロータリアン」

大澤 徳平 2011 / 1P (D.2640 月信)

[上記申込先:ロータリー文庫]

ロータリー文庫

- 〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
- TEL.03-3433-6456 ●FAX.03-3459-7506 ●<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
- 開館=午前10時~午後5時 ●休館=土・日・祝祭日



第 2840 地区

2月 出席報告

クラブ数	会員数				
	月初	月末	純増減会員数	女性会員	当月出席率
47	1943	1947	4	73	82.02

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数				
			月初	月末	増減	女性	
第1分区	前橋	4	86.55	112	112	0	3
	前橋西	4	86.41	58	57	-1	4
	前橋東	4	82.25	66	66	0	4
	前橋北	4	87.14	65	65	0	5
	前橋南	4	95.31	32	32	0	1
	前橋中央	5	75.29	30	30	0	6
	合計		85.49	363	362	-1	23
第2分区A	桐生	4	81.88	69	69	0	0
	桐生南	4	75.00	23	23	0	0
	桐生西	4	85.80	49	49	0	0
	桐生中央	4	78.12	24	24	0	3
	桐生赤城	4	84.57	41	41	0	5
	合計		81.07	206	206	0	8
第2分区B	伊勢崎	5	93.04	74	74	0	0
	群馬境	4	80.46	32	32	0	1
	伊勢崎中央	4	85.94	65	66	1	0
	伊勢崎南	3	70.37	27	27	0	1
	伊勢崎東	3	88.89	30	30	0	1
	合計		83.74	228	229	1	3
第3分区	高崎	4	86.96	69	69	0	0
	高崎南	4	79.36	63	63	0	4
	高崎北	5	75.24	67	67	0	0
	高崎東	4	79.16	37	37	0	1
	高崎ソフオー	4	83.78	37	37	0	3
	高崎セントラル	4	72.18	35	35	0	0
	合計		79.45	308	308	0	8

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数				
			月初	月末	増減	女性	
第4分区A	太田	4	89.02	62	66	4	3
	太田西	4	78.57	20	20	0	2
	太田南	4	81.93	42	42	0	0
	新田	4	85.18	27	27	0	0
	太田中央	4	80.32	42	42	0	1
	合計		83.00	193	197	4	6
第4分区B	館林	4	81.70	47	47	0	0
	大泉	4	77.67	27	27	0	3
	館林西	4	86.10	19	19	0	0
	館林東	4	86.34	26	26	0	2
	館林ミレニアム	3	86.12	25	25	0	0
合計		83.57	144	144	0	5	
第5分区	渋川	4	93.33	58	58	0	3
	沼田	4	77.08	58	58	0	0
	草津	4	70.86	21	21	0	1
	みなかみ	5	95.00	5	5	0	0
	中之条	4	92.47	23	23	0	1
	沼田中央	4	81.63	56	56	0	0
	渋川みどり	4	77.51	44	44	0	3
	合計		83.98	265	265	0	8
第6分区	富岡	4	86.39	46	46	0	4
	藤岡	4	82.96	44	44	0	2
	安中	4	68.97	29	29	0	0
	藤岡北	3	80.00	17	17	0	2
	富岡中央	4	87.29	41	41	0	1
	碓氷安中	4	64.44	14	14	0	2
	藤岡南	4	70.32	16	16	0	1
	富岡かぶら	4	80.17	29	29	0	0
	合計		77.57	236	236	0	12